

平成 23 年度の学校評価

| 本年度の 重点目標 | ①様々な体験や世代・領域を超えた多くの人との出会いの場の提供と積極的な活用 ②生徒の可能性を引き出し、能力を最大限に伸ばすことのできる教員・生徒間の信頼関係の醸成 ③学習不振、学校不適応、発達障害など特別に支援の必要な生徒についての日常的な情報交換と組織的対応 ④ホームページ・中学校訪問などを通じた的確で迅速な情報発信 ⑤安全で快適な教育環境の整備 ⑥組織及び個人の両面におけるコンプライアンスの徹底 | | |
|--------------|--|---|---|
| 項目(担当) | 重点目標 | 具体的方策 | 評価結果と課題 |
| 学習指導 | ① 65分授業の充実と授業改善 | <ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通した実践的な学習指導計画を立てる。 | <ul style="list-style-type: none"> 「年間指導計画並びに実施表」を活用して学習指導計画の効果を各教科会で検討した。また、「授業感想アンケート」から、「授業の進捗についていけない」と感じている生徒が昨年度と比較して大幅に減少しており、改善が確認できた。来年度に向けて更なる検討を重ね、次年度の指導計画にいかしていく必要である。 |
| | ② 個々の生徒に応じた学習法の確立 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の多様化に対応した適切な学習指導や学習活動を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 「学習状況等総合調査」で、特に2年生の家庭での学習時間が昨年度から引き続き減少していることがわかった。また、全体に家庭学習の時間が減少傾向にある。各学年とも家庭学習の時間の確保が必要がある。職員間で問題意識を共有し、来年度に向けてその具体的な対応策を検討していく必要がある。 |
| 生徒指導 | ① 基本的な生活習慣の確立 | <ul style="list-style-type: none"> 遅刻、早退、欠席の理由を把握して適切な指導が行えているか。 身だしなみについて日常的に意識させることができるか。 | <ul style="list-style-type: none"> 遅刻、欠席統計の中間集計をみると、ここ5年間で最も遅刻者が少ないという結果であった。しかし、ぎりぎりに登校する生徒も多いため、引き続き学年会に指導強化を依頼して遅刻の減少に努めてゆく。 式典、集会を利用して身だしなみ検査日の設定、早い段階からの呼びかけにより生徒の自覚を促してゆく。 |
| | ② 学校安全の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の安全を考え、組織的に対応する。 生徒の交通安全への意識高揚が図れているか。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員とPTAとの連携による交通安全指導日を設け、危険箇所の街頭補導を行った。 生徒交通委員により、クラスの生徒にアンケートを行い、自転車盗難箇所、危険箇所について報告した。 警察による、交通安全教室を実施、並進走行や信号無視の危険性について生徒に呼びかけ、安全に対する意識の高揚を図った。 |
| | ③ 教育相談の推進生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> 予防的な教育相談活動に取り組んでいるか。 不適応生徒を早期に把握し、組織的な対応が図れているか。 | <ul style="list-style-type: none"> 累積10日以上欠席者と5回以上の保健室利用者についての状況を集約し、教育相談協議会を通して職員に周知した。 スクールカウンセラーとの連携により、生徒理解を図り、早期の対応で生徒の心のケアに努めた。 学年会、養護教諭との連携を図り、教育相談協議会や特別支援教育協議会を行った。結果については、職員会議で内容を周知するなどして不適応生徒に対する意識の共有化を図った。 |
| 進路指導 | ①進路選択能力の育成 ②進路に応じた進路設計 ③進路目標の堅持と幅広い視野の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 面談、進路相談の充実 適切な資料提示 進路検討会の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 進路アンケート、生徒面談、進路検討会を行うことで職員の共通認識を図るとともに継続的な進路指導ができた。 進路便りや学年通信を発行することで進路意識の高揚を図り、生徒に高い進路意識を持たせることができた。 |

| | | | |
|--------------|--|---|--|
| 生徒会活動 | <p>①部活動の充実</p> <p>②生徒の力で作り上げる生徒会行事</p> | <ul style="list-style-type: none"> 顧問会議と部長会議の有効活用をする。 生徒会執行部を中心とした指導体制の確立。 生徒の力で各種行事が運営できるように意識を高めていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 総体尾張予選は男子準優勝、女子5位で男子は3年連続総合優勝は逃したが、良い結果を残すことができた。 学校祭は例年通り実施され、運動・文化の各常任委員会の働きで充実したものとなった。 台風で随分な打撃を受けたものの、マスコットも予定通り出来上がり、本校生徒の力を示すことができた。 予餞会は文化常任委員がよく働き、例年以上に開会式の運営がスムーズに行われた。 本年度も生徒が積極的に行事へ取り組んでいるという評価がアンケートで得られた。 |
| 学校図書館 | <p>①図書館の利用機会、利用者数、本の年間貸出冊数の増加</p> <p>②生徒図書委員会活動の活性化</p> | <ul style="list-style-type: none"> 図書館の利用機会、利用者数、本の年間貸出冊数を増加させる。 生徒図書委員会活動の活性化を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業での図書館利用が伸び悩んだ。そのためか昨年に比較して貸出数が減少してしまった。機会を捉えて授業での図書館利用をアピールし、貸出数の増加を図りたい。 図書委員の総務係を中心に文化祭企画は成功した。読書会、講演会等活発に活動してくれた。たよりの発行と企画展示にも積極的に取り組ませたい。 |
| 学校保健 | 美化活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 通常の清掃活動、特別清掃の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 通常清掃・大掃除ともに職員・生徒の協力の下、計画通り実施できた。 特別清掃の校内外美化活動・スノコ清掃・側溝清掃については、マスクの準備等改善点もあったが、しっかり活動することができた。 |
| | 保健・安全教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ゴミの分別、減量、リサイクルを徹底させる。 生徒保健委員会活動の充実を図る。 心身の健康や安全指導の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 一部の生徒の長期休業中や休日の弁当容器等の持ち込みが今年もみられた。全校生徒のモラルの向上を訴えていきたい。また、他校からの来訪生徒には部顧問の先生から本校のゴミ処理のルールを伝えてもらうこととしていたが、徹底できなかった。来年度は、本校ゴミ処理のルールを記載した用紙を準備し、徹底していきたい。 生徒保健委員長が2学期の終業式で全校生徒に対してゴミの持ち込みについて訴えかけることができた。来年度も、より積極的に活動できるように指導していきたい。 部活動のリーダーを対象に熱中症を中心とした安全講習会を実施し、一定の効果を上げることができた。 |
| 被服・ファッション創造科 | <p>①創造力・実践力の育成</p> <p>②知識・技術の習得</p> <p>③地域社会に貢献する人材の育成</p> | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味関心に応じたファッション創造や保育に関する専門的な知識や技術を習得させる。 地域社会が求める資質や能力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 各種のコンテストに挑戦し、良い結果を得ることができたことは、新しい時代の求める能力を高める機会となり、生徒の意欲にも繋げることができた。 校内外における見学研修や実習やを重ねることにより、選択したコースに応じた専門的な知識は深まり、技術を向上させることができた。 社会人講師による講習会やインターンシップ等の実施は、専門科目への興味関心を高めることができた。将来の進路選択へ繋げていきたい。 |
| 総務 | <p>①情報発信の工夫と充実</p> <p>②防災意識の向上</p> <p>③保護者との協力関係強化</p> | <ul style="list-style-type: none"> ホームページ等を利用した情報発信 防災計画の見直し P T A 活動の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ホームページに掲載するコンテンツの収集を精力的に行ったほか、更新も迅速に行うことができた。 次年度の防災訓練の見直しを行った。より効果的な訓練ができるよう、更に改善を図りたい。 委員会活動が円滑に進むよう、役員・理事との情報交換を積極的に行った。今後も情報交換を密に行って行きたい。 |
| 総合評価 | <p>具体的方策に対する取組は、前年度の評価結果に基づいて全体として改善が図られているが、成果としてはまだ不十分なものもあるので、来年度に向けて問題点を把握し、検討していく必要がある。</p> | | |